

平成20年8月1日  
株式会社 新生銀行  
(コード番号:8303)

## 『退職金運用キャンペーン』の実施について

当行は平成20年8月1日(金)～11月30日(日)まで、『退職金運用キャンペーン』を実施いたします。このキャンペーンは、総合口座パワーフレックスをお持ちの満50歳～69歳のお客さまが、投資信託や仕組預金など、所定のキャンペーン対象投資商品を合計500万円以上お申し込みいただいた場合、当該お申込額と同額を上限として3ヵ月もの円定期預金の適用金利を年7% (税引後年5.6%)に優遇するものです。なお、円定期預金とキャンペーン対象投資商品は、それぞれ500万円以上(合計で1,000万円以上)で同時のお申し込みが条件となります。<sup>\*1</sup>

当行では本キャンペーンを通じて、セカンドライフを迎えるにあたり、これまで比較的、資産運用の機会が少なかったお客さまにも、資産運用を身近に感じ、より豊かなセカンドライフのための退職金運用の契機にさせていただきたいと考えております。

当行のリテールバンキングでは、お客さまの生活に豊かさや彩りを添えることを目指し、“Color your life”というブランドメッセージを掲げ、今後とも、お客さまのニーズに合った付加価値の高い商品・サービスを提供してまいります。

### ● 『退職金運用キャンペーン』概要

期 間：平成20年8月1日(金)9:00 ～ 平成20年11月30日(日)21:00<sup>\*2</sup>

対象となるお客さま：下記条件を全て満たしたお客さま

- ① 総合口座パワーフレックスをお持ちのお客さま(キャンペーン期間中の新規口座開設を含みます)
- ② お申込時点で満50歳～69歳のお客さま  
(お申し込みの際、退職を証明する書類の提出は必要ありません)

内 容：キャンペーン期間中、上記対象条件を満たしたお客さまが、下記のキャンペーン対象投資商品を合計500万円以上お申し込みいただくと、当該お申し込み額と同額を上限として3ヵ月もの円定期預金の適用金利を年7%(税引後年5.6%)に優遇。円定期預金とキャンペーン対象投資商品は、それぞれ500万円以上(合計で1,000万円以上)で同時のお申し込みが条件となります。<sup>\*1</sup>

対象投資商品<sup>\*3</sup>：① 仕組預金(「パワー定期プラス」・「パワー定期スリー」)  
② すべての投資信託(MMF・スイッチングを除く)など

お取 引 チャンネル：店頭・インターネットバンキング(新生パワーダイレクト)・コールセンター(新生パワーコール)

<sup>\*1</sup> キャンペーン期間中は何度でも対象投資商品と円定期預金のセットプランにお申し込みいただくことが可能です。預入金額の上限はありません。インターネットについては、対象投資商品お申し込み後、同月内に円定期預金にお申し込みいただくことで、同時のお申し込みとみなします。

<sup>\*2</sup> 店頭でのお申し込みは、平成20年11月30日(日)店頭閉店時完了分までが対象となります。

<sup>\*3</sup> 投資信託は、約定金額にお申込時の手数料(税込み)を加えた金額で計算いたします。その他の対象投資商品につきましては、店頭またはコールセンター(新生パワーコール)にてご確認ください。

以 上

## 【仕組預金について】

●仕組預金とは、先物外国為替取引、金融等デリバティブ取引などと預金との組み合わせによる預金商品です。●お客さまから中途解約の申し出があり、当行がやむを得ない事由と認めた場合、中途解約に応じることがありますが、その場合、中途解約に伴い発生する解約日から満期日までの当該仕組預金の再構築額およびそれに伴う諸経費を当行所定の計算により算出し、その算出額を損害金として当該預金元本より差し引いて払戻しを行います。この結果、元本割れとなる場合があります。また市場の環境等によっては大きく元本割れとなる場合もあります。●円からのお預け入れによる二重通貨定期預金(愛称:パワード定期プラス)や二通貨参照型通貨オプション付円定期預金(愛称:パワード定期スリー)は、満期日の2営業日前の実勢為替レートが特約設定レートより円高になった場合、満期金は予め定められた特約設定レートにて「外貨」に交換のうえ、外貨普通預金に入金となります(実勢為替レートで交換されません)。この場合、実勢為替レートで「外貨」に交換する場合と比べて不利な条件で交換されることとなります。また、満期金が「外貨」でお受け取りとなった場合、その後円転する際は、為替レートの変動により「外貨」に交換された円の元本を下回り、元本割れとなることがあります。また為替レートの変動がなかった場合でも、為替手数料(原則として1基本通貨単位あたり片道1円)を含む当行TTBレート(外貨から円貨への換算相場)が適用されるため「外貨」に交換された円の元本を下回り、元本割れとなることがあります。満期時に外貨でのお受け取りとなった場合、預金保険の対象ではなくなります。●お申し込みの際には、店頭の説明書(契約締結前交付書面)をご確認のうえ、行員の説明等を受けてください。また、商品内容を十分に理解し、自己の判断と責任においてお申し込みください。

## 【投資信託について】

■販売は新生銀行、運用は投信委託会社となります。●投資信託は以下のリスク等により、元本を割り込むことがあります(基準価額の変動リスク)。運用の損益はすべて投資信託をご購入のお客さまに帰属します。◎「価格変動リスク」(ファンド自体の基準価額変動リスク、組入れ有価証券等の価格変動リスク、為替変動リスク等)◎「発行者(あるいは保証会社)の信用リスク」(組入れ有価証券等の発行体の信用リスク)■手数料や費用がかかります●投資信託には以下の通りお客さまに直接、または間接的にご負担いただく手数料や費用があります。※各種数値は2008年8月1日現在、新生銀行で取扱中の商品におけるそれぞれについての最大値を明記しています。商品ごとに手数料や費用は異なりますのでお申し込みの際は必ず目論見書(目論見書補完書面を含みます)をご確認ください。【お申し込み時】申込手数料(最大3.15%)がかかります。【運用期間中】信託報酬または管理報酬(年率・最大3.0%)やその他信託期間中に発生する費用(監査費用、成功報酬、投資先ファンドにかかる費用等)があり、運用状況等により変動するため、事前に料率および上限額を示すことはできません。)がかかります。【換金時】信託財産留保額(最大1.0%)や買戻し手数料(最大3.0%)がかかります。上記手数料などの合計額等については、お客さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。■その他のご注意いただきたい重要事項●投資信託は預金等ではなく、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証および利回り保証のいずれもなく、運用実績によっては投資元本を割り込むおそれがあります。●投資信託は預金等ではなく、預金保険の対象ではありません。また銀行でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。●投資信託の換金については、換金お申し込み制限期間(クローズド期間)が設定されているものがあるほか、換金までに相当の期間がかかるものもあります。●当行における国内籍投資信託の換金方法は解約請求制のみであり、買取請求は行っていません。●投資信託をお申し込みの際には、予めまたは同時に目論見書(目論見書補完書面を含みます)をお受け取りいただき、内容をご確認のうえ、お客さまご自身でご判断ください。なお、目論見書(目論見書補完書面を含みます)は、新生パワーダイレクトや店頭で入手いただけます。郵送でもお届けします。インターネット専用の投資信託の目論見書(目論見書補完書面を含みます)は、新生パワーダイレクトでのみご覧いただけます。